

# 美しい 県土づくりNEWS



2009年  
2月

岩手県県土整備部  
手づくり広報誌 55号  
平成21年2月19日発行  
編集 県土整備企画室

## 目次

- 2 「国土と交通に関する図画・作文コンクール」県内入賞者のお知らせ
- 4 いわて花巻空港 新ターミナルオープン
- 5 「財団法人岩手県下水道公社」が国土交通大臣から表彰
- 6 森林基幹道のルート見直しについて
- 8 「岩手・宮城内陸地震から学ぶ会」を開催
- 9 平成橋(仮称)下部工工事の現場見学会を開催
- 10 二戸市・一戸町の街道情報サイト「まちめぐりナビ」開設
- 11 釜石「鉄のみち」が日本風景街道に登録されました
- 13 「八幡平アスピーテライン」及び「樹海ライン」の開通予定
- 14 岩手県住宅供給公社の解散について

がんばろう！岩手 2009

### ～国土と交通に関する図画・作文コンクール受賞作品「ていぼうの工事」～

本コンクールは国土交通省が主催し、毎年6月～9月の間に募集を行っており、県土整備部が窓口となっています。募集案内は、県内全小中学校へ送付していますが、児童・生徒個人の皆様からの直接の応募も大歓迎です。次回コンクールへの皆様からの図画・作文の応募をお待ちしております。



(国土交通事務次官賞[優秀賞・図画部門]を受賞した 奥州市立白山小学校4年 鈴木風花さんの作品です。)

## 「国土と交通に関する図画・作文コンクール」県内入賞者のお知らせ

県土整備企画室

### ◆県内作品が国土交通事務次官賞（優秀賞・図画部門）を受賞しました！

国土交通省が主催した本コンクールへは、小学生を対象とした図画部門、中学生を対象とした作文部門合わせて、全国から3,462もの作品が寄せられました。

各県の地方審査を経て推薦された作品を対象に中央審査が行われ、国土交通大臣賞（最優秀9作品）・国土交通事務次官賞（優秀28作品）等が決定しました。

県内からは、図画14作品の応募があり、岩手県地方審査を行い中央審査へ3作品を推薦した結果、図画部門で奥州市立白山小学校4年の鈴木風花さんが国土交通事務次官賞を受賞したほか、2作品が佳作となりました。おめでとうございました。

また、県内応募作品のうち、中央審査推薦作品以外で優秀と認められた作品3点を、岩手県地方審査「入選」として選出しました。

コンクールは毎年6月～9月の間に募集を行っており、県土整備部が窓口となっています。募集案内は、県内全小中学校へ送付しておりますが、児童・生徒個人の皆様からの直接の応募も大歓迎です。

今回は、残念ながら作文の応募がありませんでしたので、次回コンクールへの皆様からの図画・作文の応募をお待ちしております。

#### 国土交通事務次官賞【図画部門】

作品名：『ていぼうの工事』

受賞者：奥州市立白山小学校4年 鈴木風花さん



中央審査 佳作作品【国画部門】

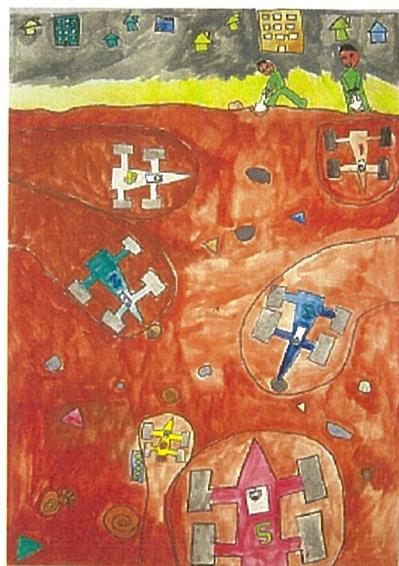


『宇宙をかけめぐるミステリー列車』  
奥州市立胆沢愛宕小学校4年 安倍唯菜さん



『宇宙にうかぶ道路』  
大槌町立安渡小学校5年 黒澤竜一郎さん

地方審査 入選作品【国画部門】



『地下をほり進む未来の地下たんけん隊』  
奥州市立胆沢愛宕小学校4年  
千田雄也さん



『動物の車』  
奥州市立胆沢愛宕小学校4年  
高橋紀圭さん



『ヒヨコ号に乗って出発』  
奥州市立胆沢愛宕小学校4年  
三平茉由さん

『国土交通DAY』とは?…

国土交通省では、人々の生き生きとした暮らしとこれを支える活力ある経済社会、日々の安全、美しく良好な環境、多様性ある地域を実現するためのハード・ソフトの基盤の形成を推進するため、広く国民の理解と協力を得ることを目的として、国土交通省設置法が交付された平成11年7月16日にちなんで、毎年7月16日を「国土交通DAY」とし、当コンクールや関係施設の一般公開など、様々なイベントを開催しています。

- ◇ 地方審査の結果については、県土整備部HPでもお知らせしています。

[岩手県HP]

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?cd=15973>

- ◇ 全国の国土交通大臣賞及び国土交通事務次官賞作品について、国土交通省ホームページに掲載しています。

[国土交通省HP]

[http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo01\\_hh\\_000013.htm](http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo01_hh_000013.htm)

# いわて花巻空港 新ターミナルオープン!

花巻空港事務所



先月号に引き続き4月9日オープンする新ターミナル地域について、その概要を紹介します。

## 1 はじめに

いわて花巻空港は、

- ①冬期の安全性、就航率の向上<sup>※1</sup>
  - ②ターミナル地域のサービス向上<sup>※2</sup>
  - ③国際チャーター便の運航拡大<sup>※3</sup>
- の3つ目的で平成10年度から段階的に整備を行ってきました。

※1 … 平成17年3月に滑走路を2000mから2500mへ延長

※2 … 新ターミナルを本年4月9日にオープン予定

※3 … 大型機が就航できるように平成21年度から平行誘導路の整備を再開

## 2 新ターミナル地域の特徴

### ■ユニバーサルデザインへの対応

ターミナルビルや駐車場は、高齢者や障がい者の方などどなたでも快適に利用できます。

### ■国際線施設の整備

国内線との動線分離、広い待合室や税関等入出国手続き施設の整備により、安全で快適に海外へ出発することができます。

### ■駐車場の整備

年末年始や夏休みなどの繁忙期にも駐車できるように、現在の約2倍の1,150台が駐車できるようになりました。もちろん、今まで通り無料です。

### ■エプロンの整備

現在は中型ジェットまでの駐機ですが、新エプロンはボーイング747ジャンボ旅客機などの大型ジェットも駐機できます。(大型ジェットの就航は平行誘導路の整備後になります。)

## 3 今後の空港整備について

平成21年度から、最後のステップである平行誘導路の整備再開を予定しており、完成後は、世界文化遺産登録予定の平泉を訪れる人々などをのせた大型ジェットが就航できるようになります。



## 「財団法人岩手県下水道公社」が国土交通大臣から表彰！

### 下水環境課



#### ■表彰の趣旨

国土交通省は、下水道法制定50周年(昭和33年4月24日制定)を記念して、下水道事業の推進に多大な功績のあった者を表彰することにより、その功績をたたえるとともに、今後の下水道行政の一層の推進を図ろうとするものです。

表彰式は、平成21年1月30日(金)に国土交通省10階共用会議室にて行われました。

#### ■財団法人岩手県下水道公社の主な功績

昭和62年の設立時から、岩手県が管理する北上川上流流域下水道(3処理区)・磐井川流域下水道(1処理区)の施設の適正な維持管理を行うとともに、市町村が施工する下水道工事の管理監督補助や下水処理場維持管理補助の技術支援を実施し、下水道整備の促進に貢献しています。

また、下水消化汚泥の無害化技術、余剰消化ガスの有効利用、下水管渠における防食対策などの調査研究を大学や民間企業と共同で実施し、維持管理における課題解決と効率化に成果を上げています。

さらに、下水道施設の見学者受け入れを随時行うとともに、下水道の日にちなんだ「下水道フェスタ」や小学校への出前講座を開催するなど、下水道の普及啓発に貢献しています。

以上のように、財団法人岩手県下水道公社は、県の下水道施策の推進に大きな役割を果たしてきました。

財団法人岩手県下水道公社は、流域下水道施設の維持管理に尽力した功績が認められ、1月30日に国土交通大臣から表彰されました。

この表彰は、国土交通省が下水道法制定50周年を記念して、下水道事業の推進に尽力した功労者等に対して行ったもので、東北・北海道地区から唯一の受賞となりました。

#### ■財団法人岩手県下水道公社とは…

公社は、下水道に関する知識の普及、啓発等を行うとともに下水道施設の維持管理業務の受託を行うなど下水道に関する施策に協力することにより、県民の快適な居住環境の改善や公共用水域の水質の保全に寄与することを目的として、県や市町村が出捐し昭和62年に設立されました。

#### 【全国の受賞人数等】

##### ◆国土交通大臣表彰

個人28人、団体12団体

(※北海道・東北地区から唯一の受賞)

##### ◆国土交通大臣感謝状

個人3人、団体7団体

## 森林基幹道のルート見直しについて

～住民満足度アップとコストダウンの実現～

二戸地方振興局土木部

H19年度末の独立行政法人緑資源機構の解散に伴い、平成20年度から同機構の幹線林道事業県内4路線のうち、安孫・平糠線（葛巻町～一戸町）と毛無森線（一戸町）の整備を当部が担当しています。

そのうち、安孫・平糠線の「落合区間（一戸町）」については、緑資源機構の当初計画ルートと地元住民の要望や県の財政事情を踏まえた別のルートを比較検討し、当初計画ルートを見直すこととしました。

### ■ 当初計画の概要

当初計画ルートは、緑資源機構が幹線林道事業（全国7箇所の大規模林業圏において林道ネットワークの軸となる基幹林道を整備する事業）として設定した高規格道路（幅員7m・全面舗装）として計画していたため、山岳地帯の中腹を横断する線形となっており、4つの橋（100m1橋、60m2橋、50m1橋）が必要でした。

また、総事業費は27.6億円で、事業期間は平成20～31年度となっていました。

### ■ 地域住民の要望に応えた道づくりを目指して！

当初計画ルートに対しては、地元住民から次の要望が寄せられており、さらには厳しい県財政の中、事業費の縮減をなんとかできないか、皆で知恵を絞りました。

- ・当初計画ルートは急勾配で、冬場の通行が怖い。
- ・通い慣れた現道（落合林道）を改良して欲しい。
- ・新しい道路を早く使えるよう、工事が早く終わるルートを選んで欲しい。

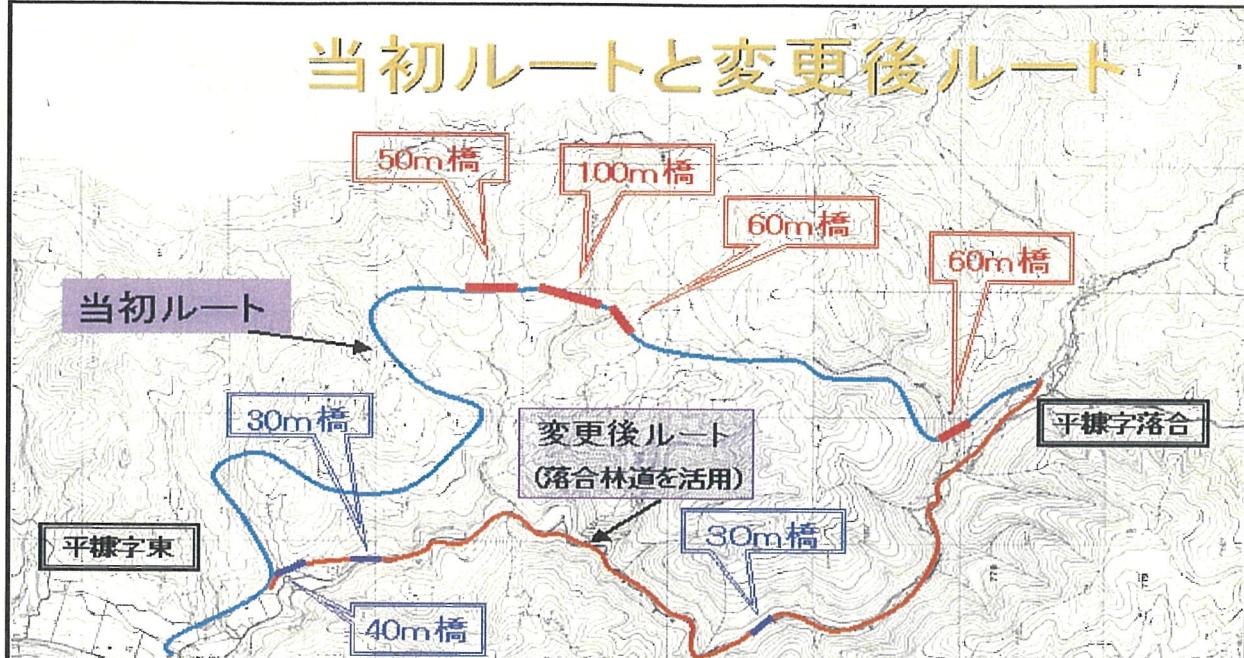
### ■ 新たな計画の作成

地域の声に応えるため、国、市町村、県関係部署とルート変更に伴う影響等を十分に協議しながら、当初ルートを一部変更する形で新たな計画を作成しました。この計画の工事費は6.9億円と約1/4に縮減となり、事業期間も20～26年度と約半分となりました。

#### 【計画変更のポイント】

- ・起点（東地区）側は用地取得済みの区間を活用しながら、現道（落合林道）に接続。
- ・現道（落合林道）が幅員4mの砂利道で、急峻な山間部の川沿いを縫うような道路であるため、幅員は5m。
- ・橋梁は当初計画ルートよりも少ない3橋（40m1橋、30m2橋）で対応可能。

## ■ 安孫・平糠線「落合区間」の当初ルートと変更後ルート



項目	当初計画ルート	新たな計画ルート（現道改築）
設計概要	延長 5,736m 幅員 5.0m 土工 237 千m <sup>3</sup> 橋梁 4橋	延長 4,226m 幅員 5.0m 土工 33 千m <sup>3</sup> 橋梁 3橋
経済性	本工事費 27 億 6 千万円 481 千円/m	本工事費 6 億 9 千万円 163 千円/m
施工性	土工量、構造物とも多く、施工期間が長い。	生活道路の改築であり、通行を確保しながら施工する必要あり。
走行安全性	平均勾配 8~9%で、凍結時はスリップの危険あり。	平均勾配 2~4%で、凍結時も安全。
維持管理費	新設林道のほか現道の管理も必要で、維持管理費が多い。	当初ルートに比べ道路延長が短縮され維持管理費を縮減できる。

※当初計画ルートの幅員を 5m に修正のうえ比較検討

## ■ 今後のスケジュール

H20~21 年度は用地測量調査、住民説明会（ルート等の説明、住民意向の把握）を行い、H22~26 年度に道路改築工事、住民説明会（工事内容の説明、住民意向の把握）を予定しています。他の林道事業でも住民説明会を実施していますが、今後も住民満足度の向上に向けて、住民意向を十分把握するとともに、その意向に応えるよう努めていきます。

## ■ 見直しへの取組みに対する評価

県業務の改革改善活動の更なる活性化・加速化を目的として2月 13 日に開催された「平成 20 年度改革改善発表会」でこの取組みを発表し、来場した一般の参加者から最も支持を集めた「一般審査員特別賞」を受賞しました。



## 「岩手・宮城内陸地震から学ぶ会」を開催

～宮城県沖地震に備えて～

釜石地方振興局土木部



1月20日、釜石地方振興局庁舎で『岩手・宮城内陸地震から学ぶ会～宮城県沖地震に備えて～』を開催しました。宮古、釜石、大船渡の3振興局共催で行ない、3地域の自治体の土木関係職員や建設業協会会員など約100名が参加しました。

今後10年間での発生確率が60%から70%に引き上げられた宮城県沖地震に備えるため、実際に一関で岩手・宮城内陸地震に対応された方々を講師に招き、地震の被災状況と当時の対応について報告していただきました。

自治体と建設業協会との災害時協定や災害訓練などの事前の備えが、今回の災害で生かされたことなど、大規模災害に対する危機管理を考える上で貴重な情報を得ることが出来ました。

### [講演内容]

#### ①岩手宮城内陸地震における土木施設災害のメカニズムと災害復旧

(講師： 株式会社復建技術コンサルタント 有馬久伸 様、奈倉弘 様)

- 国道342号の祭時大橋付近は細い尾根が突き出した形をしており地山全体が崩落したようだ。沿岸地域は粘板岩などでできた古い地層で、地山全体がまとまって動くことはなく、内陸地震とは違う破損状況が想定される。

#### ②自治体の危機管理と災害復旧体制

(講師： 一関市役所建設部 維持課長 五十嵐正一 様)

- 被災直後に職員を「パトロール」「電話対応」「災害対策本部」の3つに区分して対応。多くの情報を的確に集約し、次の手立てを判断することが重要だと痛感。ヘリコプターは大変役立つが、ヘリポートの確保に苦労した。

#### ③地域と共に生きる建設業～岩手・宮城内陸地震への対応について～

(講師： 社団法人岩手県建設業協会一関支部 支部長 宇部貞宏 様 )

- 「災害時における協定」に基づく対応などについて説明。各社が担当区域を巡回して道路や河川を点検したことや、復旧対策の協力要請に応えられるよう、いち早く態勢を整えたことを報告。

# 平成橋(仮称)下部工工事の現場見学会を開催

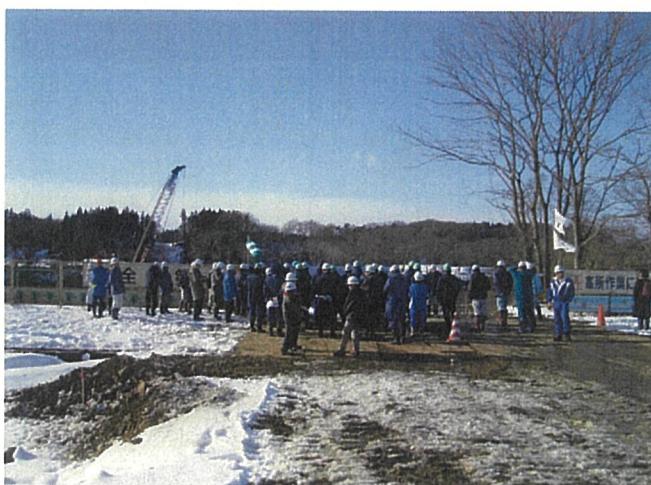
県南広域振興局 北上総合支局土木部



1月16日（金）に、施工会社と共に平成橋(仮称)下部工工事（北上市更木）の現場見学会を開催しました。

地元の関心が高く、当日は、冬晴れの寒い日にもかかわらず、地元の方々を中心に約60名に参加いただきました。

“工事を生で見ることができてよかったです。”あるいは“どういうふうに工事をしているかよくわかった。”等、住民の方々に工事や事業への理解を深めていただき、有意義な見学会となりました。



H20年度工事の全体説明



5号 橋脚 くい基礎見学

## ■平成橋（仮称）概要■

橋長 L=516.5m 幅員 W=6.5 (12.0)m

橋台 2基 橋脚 7基

5号橋脚 壁式橋脚 場所打くいφ1.2m L=33m、N=20本

6号橋脚 壁式橋脚 場所打くいφ1.2m L=28.5m、N=9本

## 二戸市・一戸町の街道情報サイト「まちめぐりナビ」開設!

道路建設課

奥州街道ネットワーク（構成団体：NPO法人奥州街道会議、NPO法人いわてNPOセンター、いわて街道交流会、二戸市、一戸町、岩手河川国道事務所、岩手県）では、日本風景街道※に登録された「奥州街道 温故知新の道」の景観を活かした地域づくり活動を行っています。

この活動の一環として、二戸市・一戸町の街道を歩いてみたい人のためにモデルコースの紹介を行う、「まちめぐりナビ」（通称「まちナビ」）サイトを立ち上げました。

街道に関する豆知識等、情報満載ですので、是非一度ご覧になってください！！また、これからもサイトをより良いものとしていきますので、皆様のご意見をお待ちしています！！

「まちめぐりナビ」へのリンク ↓（下のアドレスをクリック！！）  
<http://www.ousyukaidou.jp/machi-navi/>



The screenshot shows the homepage of the 'machimeguri navi' website. At the top, there's a banner with a green background and white text: '街道でつなぐ・歩く旅ナビ' and 'まちめぐりナビ'. To the right of the banner is a small illustration of a person walking. Below the banner, there's a sub-banner with the text '奥州街道・津法寺街道・八戸街道' and a small illustration of a person walking. On the right side of the header, there's a '会員専用ページ' button and a 'ログイン' button. The main menu below the header includes 'HOME', '二戸・一戸地域の街道', 'モデルコースガイド', '街道リンク集', and '旅のブログ・SNS紹介'. On the left side of the page, there are several buttons: 'まちめぐりナビ 無料会員募集中!', '会員でしかみることのできない"街道情報"、"旅のモデルコース紹介"、"旅のしおり"など…情報満載です！', 'もっと詳しく知りたい', '無料会員登録する', '[まちナビからのお知らせ]', 'アンケート募集中', '街道・旅の写真展', '[旅のお役立ち情報]', and '旅の適正診断'. The central content area features a large image of a landscape with mountains and a river, with the text '四季折々の 山や川をながめながら歩き 史跡をめぐり 疲れを癒すいで湯につかり 地域に伝わる料理や地酒を楽しむ・・・'. Below this, there's a section titled '街道とは' with the text '「街道」とは、人々が行き来した江戸時代の道のことをいいます。江戸の日本橋をスタートとした東海道や、中仙道、奥州街道などの有名どころから、地域の人しか知らないような山越えの道までさまざまありました。現在の道路を「〇〇街道」と呼ぶ場合もありますが、それは江戸時代の街道が今でも利用者に愛着を感じさせるためでしょう。' and another section about historical inns and relay stations. At the bottom of the page, there's a photo of people walking on a trail and a box with the question '日本風景街道とは?' and the answer from the Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism.

▲「まちめぐりナビ」トップページ

◀ 街道探訪会（浪打峠）

※ 日本風景街道とは？

国土交通省が推進する取り組みであり、道路ならびにその沿道や周辺地域において、多様な主体の協働のもと、景観・自然・歴史・文化等の地域資源を活かして観光の振興や地域の活性化を行うもの。

詳しくは → <http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/>

# 釜石「鉄のみち」が日本風景街道に登録されました！

釜石地方振興局土木部

国道283号仙人峠から国道45号を経由して釜石遠野線笛吹峠までのルートが、「鉄のみち」として国土交通省が進めている日本風景街道に登録されました。

活動主体は、いわて街道交流会、釜石市、NPO法人いわてNPOセンター、国土交通省三陸国道事務所、釜石地方振興局からなる「釜石鉄のみちネットワーク」で、1月21日にその設立総会が開かれたところです。

今後は釜石の近代製鉄の産業遺産を活用して、道を基軸とした地域活性化や観光振興を進めていきます。

## 釜石「鉄のみち」

NO. 1

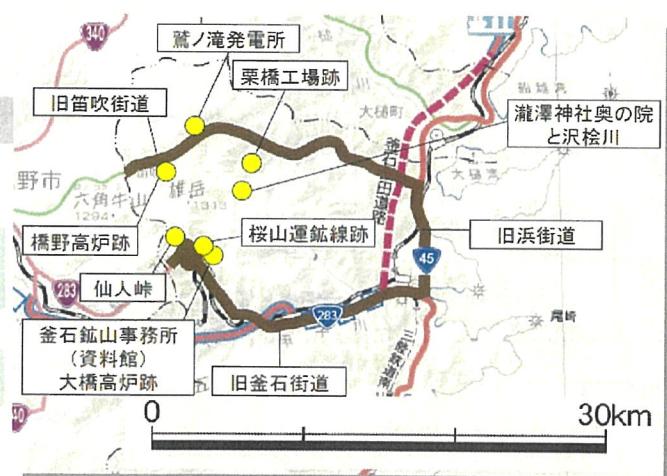
TOUHOKU

### 活動目的

地域団体と連携し、近代製鉄に係る産業遺産とそれを支えた街道景観の保全と地域ツーリズムビジネスの振興により地域の活性化に寄与する。

### 中心となる道路および活動範囲

釜石市の国道283号～国道45号～主要地方道遠野釜石線



### 構成団体～風景街道パートナーシップ～

名称：釜石鉄のみちネットワーク  
(代表者：海野 伸)

【道路管理者以外の組織】  
いわて街道交流会、釜石市、特定非営利活動法人 いわてNPOセンター

【道路管理者】  
岩手県釜石地方振興局、国土交通省三陸国道事務所

### 地域資源

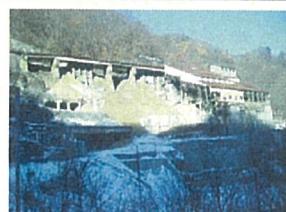
#### ■歴史資源

近代製鉄発祥地釜石鉱山を含む産業遺産群(橋野高炉跡、鷲ノ滝発電所、栗橋工場跡、大橋高炉跡、釜石鉱山事務所(資料館)、桜山運鉱線跡)

旧釜石街道、旧笛吹街道、旧浜街道

#### ■景観資源

瀧澤神社奥の院と沢松川



▲釜石鉱山

明治から戦前にかけて名を馳せた日本有数の鉱山である。鉄以外に金・銀・銅・鉛なども産出していたが、平成5年に大規模な鉄鉱石の採掘は、終了している。現在は、研究用の鉄鉱石や鉱泉水などが採られている。



▲橋野高炉跡

万延元年(1860年)頃に完成したとされ、3基の高炉が確認されている。現存する日本最古の洋式高炉跡として、昭和32年には国の文化財(史跡)に指定されている。

国土交通省 東北地方整備局 HP

「東北地方の日本風景街道」より

[http://www.thr.mlit.go.jp/road/sesaku/touhoku\\_fuukeikaidou/index.html](http://www.thr.mlit.go.jp/road/sesaku/touhoku_fuukeikaidou/index.html)



#### ◆設立総会の様子

「釜石の鉄のみちネットワーク」は昨年7月に発足したいわて街道交流会のほか、釜石市、NPO法人いわてNPOセンター、釜石地方振興局、国土交通省三陸国道事務所などで構成されています。県釜石地区合同庁舎で開かれた設立総会には、各団体の代表11人が出席し、今後5年間の活動を見通した事業計画などが決めされました。

#### ◆今後の活動計画（案）

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業内容	1 担い手育成				
	◎橋野地区＆大橋地区の勉強会 (2回)	◎地域資源を活かした商品造成ワークショップ	◎地域資源を活かした商品造成 ◎ガイドの育成		
	2-1 情報発信強化		3 地域ツーリズムの事業化		
	◎情報発信手法検討	◎街道歩き資源マップの作成	◎予約販売システムの構築	◎地域ツーリズムの本格支援体制構築	
	◎案内板の設置準備	◎協働作業での案内板の設置			
	4-1 地域資源の保存利活用（鉄のみち探訪会）				
	○探訪会（1回）	○探訪会の実施 (2回)	○探訪会の実施 (2回)	○探訪会の実施 (2回)	○探訪会の実施 (2回)
	○次年度以降の企画策定				
	4-2 地域資源の保存利活用（鉄のみち資源調査）				

#### ◆風景街道の登録方法

日本風景街道は、「地域の資源」と「活動する人たち」、「活動内容」、「活動の場」から構成されるもので、それらを総称して「風景街道」といいます。

道路ならびにその沿道や周辺地域を舞台に、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源や個性を活かした国民的な原風景を創造する運動を促し、観光の振興や地域の活性化に寄与することを目的としています。

平成19年4月20日に日本風景街道戦略会議（委員長：奥田碩日本経済団体連合会名誉会長）より提言された「日本風景街道の実現に向けて」を踏まえ、仕組みや枠組みの構築が図られ、平成19年9月10日（月）より、地方ブロック毎に設置された「風景街道地方協議会」が隨時風景街道の募集を受け付け、順次登録を行っています。

## 「八幡平アスピーテライン」及び「樹海ライン」の開通予定

道路環境課・盛岡地方振興局土木部

「八幡平アスピーテライン」の開通予定日を、昨年より1日早い4月17日（金）とすることとし、その発表を例年の4月中旬から早め、2月6日（金）に行いました。

また、「樹海ライン」は、例年と同時期であるゴールデンウイーク前の4月24日（金）を開通予定日としました。

早春の「八幡平アスピーテライン」及び「樹海ライン」の雪回廊は、八幡平の重要な観光資源であり、観光PRと観光客の増加による地元への経済波及効果が期待されることから、早期の開通と早期の開通予定日の公表について、八幡平市や八幡平観光協会などから要望を受けてきたところであり、それに応えたものです。

（※現地の気象条件等により、開通予定日が遅れる場合があります）

### 【早期開通及び早期開通予定日の公表による効果】

- ①国内でも稀な「雪の回廊と桜の開花」が同時期となり、**国内及び台湾をはじめとする海外の観光客の増加が期待される**
- ②開通予定日を早期に公表することにより、**観光PRが促進され、ツアー客の増加や観光周遊ルートの形成が容易になることが期待される**
- ③早春における**岩手県と秋田県の交流や連携が促進される**





## 岩手県住宅供給公社の解散について

### 建築住宅課

岩手県住宅供給公社は、勤労者に居住環境の良好な住宅・宅地を供給することを目的として業務を行ってきましたが、その役割を終えたことから平成21年3月31日で解散することとしております。

解散後も、当分の間は現在の場所（盛岡市長田町6-2）で清算法人が清算業務を行います。

●お問合せ先／県住宅供給公社 電 話 019-652-1110

FAX 019-652-1307

ホームページ <http://www1.odn.ne.jp/iwate-jk/>

Eメール ijk2@iwate-tjk.or.jp